

別表1 第47回日本放射線技術学会秋季学術大会 演題募集区分表

区分	コード	分類	コード	モダリティ	コード	臓器	コード
防護	A	教育	01	単純X線	a	脳脊髄	010
		医療安全	02				
		放射線防護	03				
計測	B	計測技術	04	血管造影・IVR	b	頭頸部 (甲状腺・副甲状腺含む)	020
		画像・画質評価	05				
		画像処理・画像解析	06				
		基礎技術	07				
画像	C	臨床技術	08	透視	c	乳腺	030
		線量評価・線量管理	09				
		造影技術	10				
		治療計画	11				
撮影	D	品質管理・品質保証	12	骨密度	d	呼吸器 (縦隔・肺血管含む)	040
		機器・機材・薬剤	13				
		医療情報データ管理・分析	14				
		細胞・動物	15				
核医学	E	読影技術	16	超音波	e	心大血管	050
		救急医療	17				
		AI(死亡画像)	18				
		治療計画	11				
放射線治療	G	救急医療	17	CT	f	末梢血管、リンパ	060
		AI(死亡画像)	18				
		機械学習・深層学習	19				
		読影技術	16				
医療情報	H	救急医療	17	MRI	h	肝胆脾臓	070
		AI(死亡画像)	18				
		システム構築・運用	20				
		読影技術	16				
その他	Z	システム構築・運用	20	SPECT・Planar	i	消化管	080
		業務支援・業務改善	21				
		業務支援・業務改善	21				
		業務支援・業務改善	21				
その他	Z	業務支援・業務改善	21	PET	k	泌尿器 (後腹膜腔含む)	090
		業務支援・業務改善	21				
		業務支援・業務改善	21				
		業務支援・業務改善	21				
その他	Z	業務支援・業務改善	21	RI内用療法	m	骨盤臓器	100
		業務支援・業務改善	21				
		業務支援・業務改善	21				
		業務支援・業務改善	21				
その他	Z	業務支援・業務改善	21	外部照射	o	骨軟部組織 (脊椎含む)	110
		業務支援・業務改善	21				
		業務支援・業務改善	21				
		業務支援・業務改善	21				
その他	Z	業務支援・業務改善	21	小線源	r	全身	120
		業務支援・業務改善	21				
		業務支援・業務改善	21				
		業務支援・業務改善	21				
その他	Z	業務支援・業務改善	21	粒子線	s	小児	130
		業務支援・業務改善	21				
		業務支援・業務改善	21				
		業務支援・業務改善	21				
その他の会にも属さない場合は、Z:その他を選択してください。学術委員会が担務します。		重複する場合は、「最も優先度の高い」項目を選択してください。		その他	z	その他	999

「F」は欠番

「g」「j」「l」「n」「p」「q」「y」は欠番

選択の例

1	X線CTにおける逐次近似再構成による画質改善効果の基礎的検討	
	コード	D07f999
2	全脊椎正面撮影におけるノイズ低減処理の有用性について	
	コード	C05a110
3	当院小児頭部X線CTにおける水晶体被ばく線量について	
	コード	A03f130
4	頭部X線CTにおける水晶体被ばく低減方法の検討	
	コード	D08f020

別表2 専門部会とその内容

区分	主な研究内容
防護	医療における放射線安全管理を考え、放射線被ばくに係わる調査、コメント・声明の発信、ガイドラインの作成、被ばくに関する研究を行う。
計測	研究の基礎をなす「計測」について研究し、X線診断・放射線治療・核医学・放射線管理・MRI・超音波などにも共通した多くの基礎的問題を抱えている。この問題を解決するとともに放射線技術学領域を中心とした計測学の研究促進をはかる。
画像	医用画像形成全般、画質評価、画像処理および解析、コンピュータ支援診断(CAD)の開発および臨床評価等の技術や手法の向上と臨床応用。すべてのモダリティの医用画像が研究対象。
撮影	一般撮影から血管撮影、消化管撮影、CT検査、MR検査、超音波検査、骨密度検査と多岐にわたり、エビデンスに基づいた技術を医療に提供できるように、環境を整備し情報を共有するとともに、最先端の研究を推進する。扱う領域は臨床に直結した放射線技術学であり、新しいエビデンスを構築するための研究を行う。
核医学	放射線技術学だけでなく医学、薬学、理工学などとの学際的な見地から、放射性医薬品ならびに核医学装置(SPECT, PET など)の開発や評価を行う。また、核医学装置の撮像法、画像再構成法、補正法、定量解析法など核医学検査技術についてのエビデンスを構築する。さらに、核医学検査(RI内用療法を含む)に関する安全管理や医療安全など実務に直結する研究も行う。
放射線治療	放射線治療の臨床、放射線治療技術学、放射線計測学、品質保証・品質管理、放射線安全管理、放射線治療の医療安全などについて研究する分野である。がん治療に貢献する放射線治療全般に関する研究を含める。
医療情報	情報という観点から放射線技術学領域におけるすべての業務分析と安全・管理・評価、医療経営・経済の視点からの分析・統計の研究。医用画像領域における情報システムの開発と管理・評価法の研究。情報の安全な取扱いや法律、医療における標準化の取り組み、診療の現場から地域連携まで広い範囲を研究領域とする。